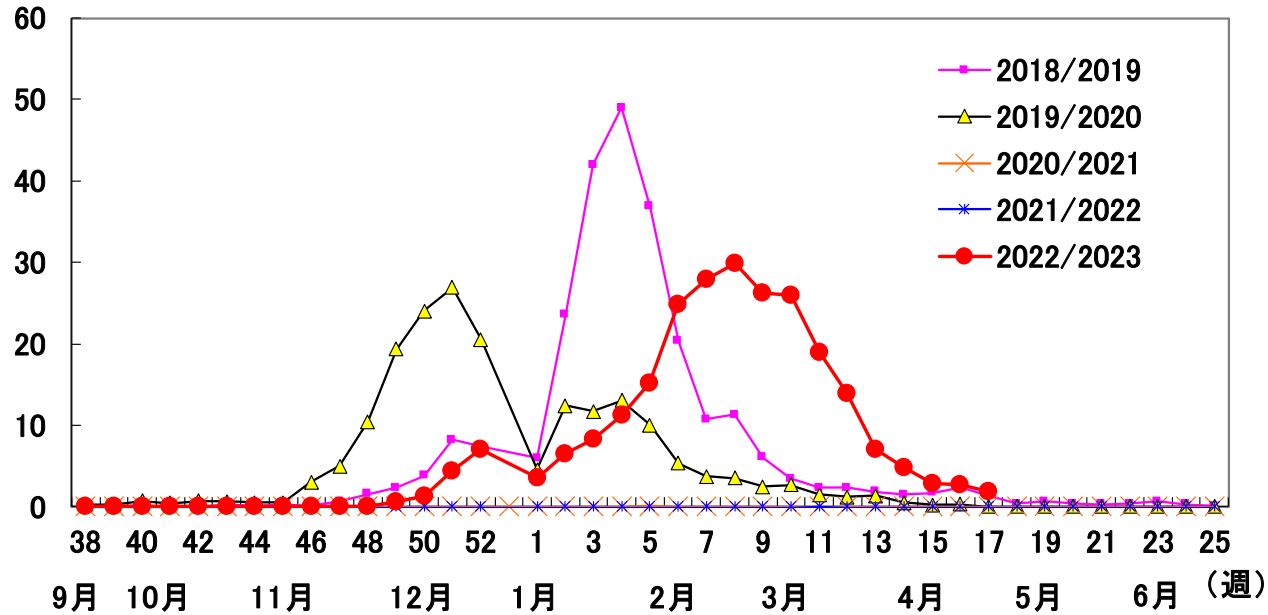


# インフルエンザの発生状況(富山県)

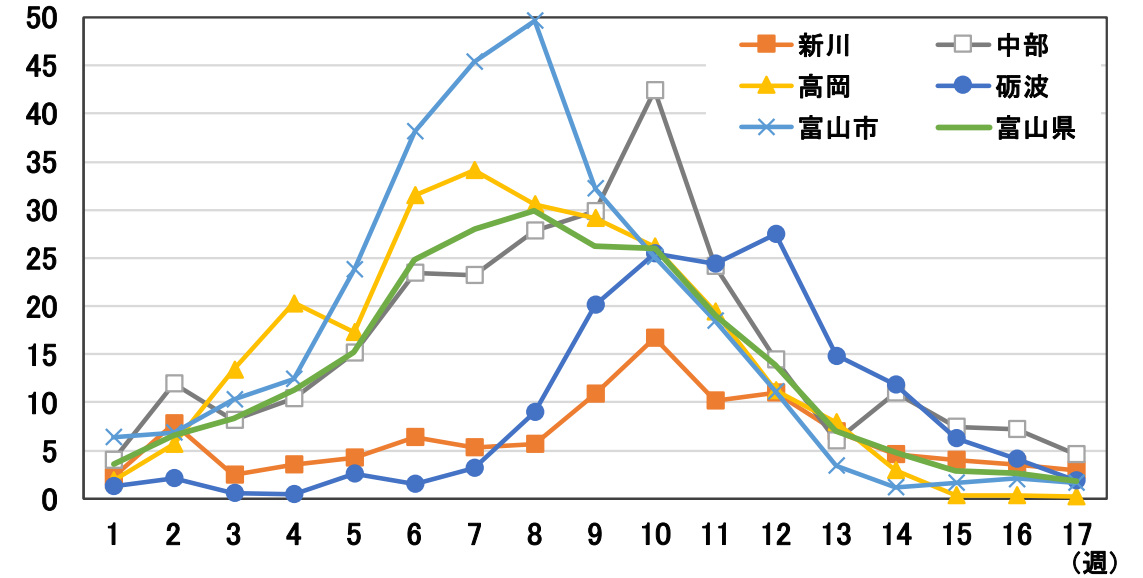
【第17週(2023/4/24~30) 感染症発生動向調査速報値 (2023/5/8時点)】

(人/定点)

図1.5シーズンの患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2022/2023)



- 今週の報告数は1.81人/定点であり、先週 (2.65人/定点) から減少した (図1)。
- 厚生センター・保健所別に見ると (図2)、中部厚生センター、砺波厚生センター管内で報告数が減少し、そのほかの管内では報告数は横ばいであった。

図3. 年代別割合(富山県、第17週)

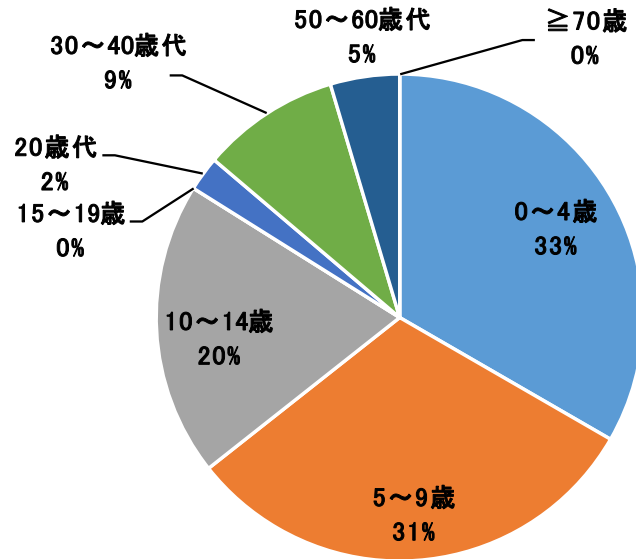
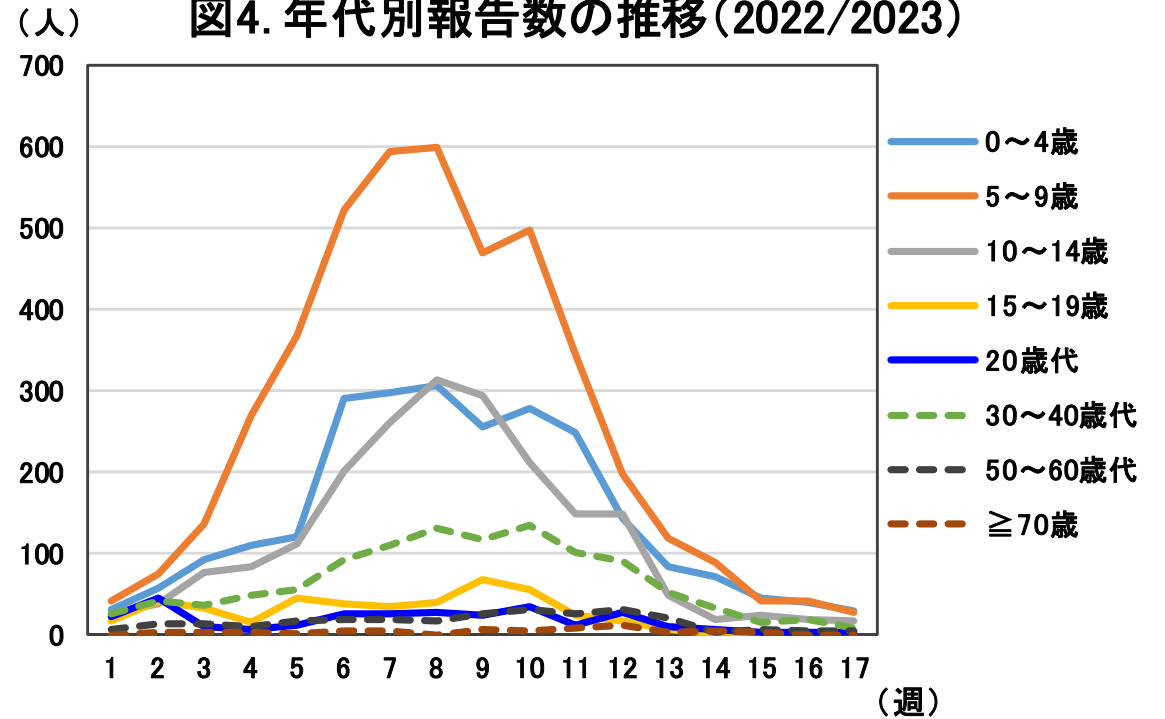


図4. 年代別報告数の推移(2022/2023)



- 富山県の第17週の年代別割合(図3)では、15歳未満の小児が84%を占めた。
- 年代別報告数の推移(図4)では、すべての年代で減少または横ばいであった。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は、第17週に小学校2件の報告があった。

富山県HP : <https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

富山県感染症情報センターHP : <https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/inful/influ2223/influ2223.htm#gakkyuheisa>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第16週)

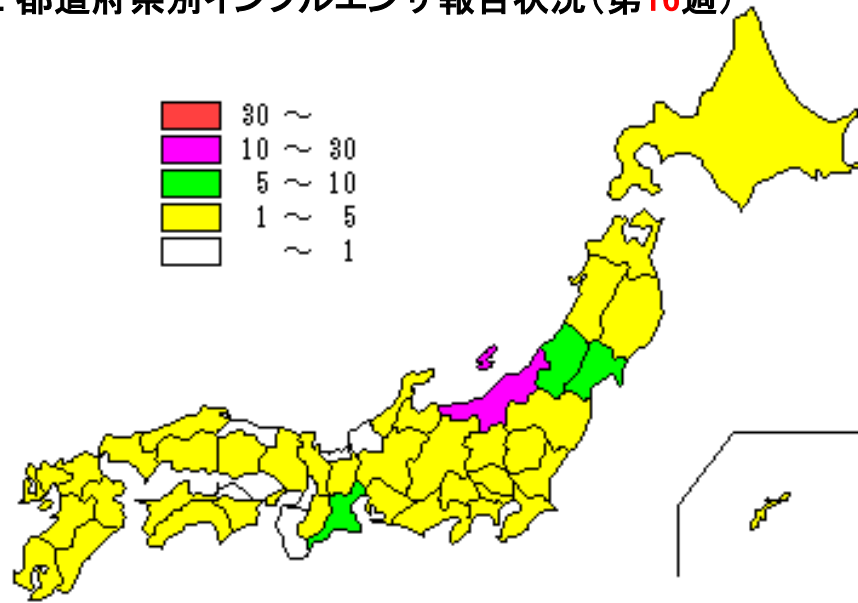
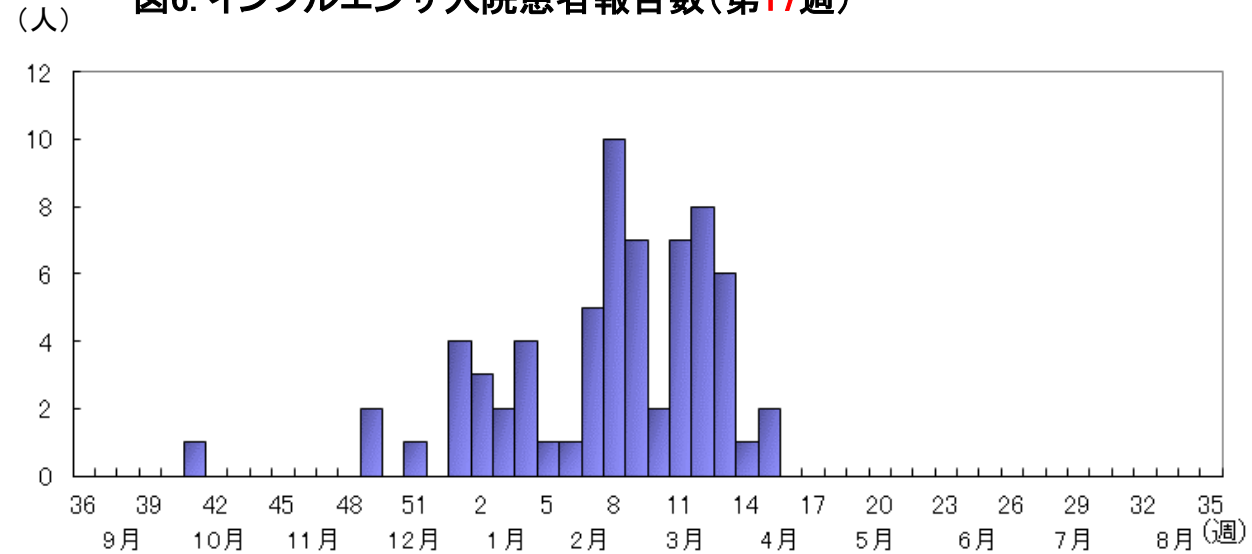


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第17週)



- 全国の定点あたり報告数は第16週に2.51人/定点となり、前週（2.16人/定点）より増加した。都道府県別（図5）では、30道府県で前週より増加しており、新潟県で注意報レベルの10人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第17週に入院患者の報告はなかった。